

I はじめに

昭和50年に「小・中一貫をめざした教育課程の編成」－教育課程編成についての基本的考え方－と題して、附属小学校と附属中学校の特殊学級研究同人が共同で、精神薄弱教育研究紀要を発刊した。

その後、この基本的な考え方に基づいて、実践・研究を累積し、中学校特殊学級においては、昭和52年に「小・中一貫をめざした特殊学級の教育課程」を、続いて昭和54年には「子どもを生かす特殊学級の教営と実践」を発刊した。小学校特殊学級においては、たくましさを育てる教育課程の創造と取り組み、昭和54年に「たくましさを育てる特殊学級教育課程の創造」を発刊した。

本校は、昭和55年4月、附属小・中学校の特殊学級を合併し、養護学校として開校したのであるが、教育課程については、上記のこれまでの特殊学級のものを参考にし、「発達に即応した教育課程の編はどうあるべきか。」をテーマにかかげ、小・中・高一貫をめざして実践と研究に努めてきた。

今回の教育課程の編成に当たっては、歴史的な研究の歩みに基づくとともに、次のような立場で編成するようにした。なお、個々の発達に即応したさらに具体的な指導事項等は、今後実践・研究をしながら、書き加えていくことにする。